

21 世紀文明シンポジウム

プログラム

日時 令和5年2月24日（金）
13:30～17:00

テーマ 「気候変動・地球環境問題への対応
～今何が起き、どう向き合うべきか～」



主催：（公財）ひょうご震災記念 21 世紀研究機構
後援：環境省、兵庫県、（公財）ひょうご環境創造協会

Program

13:30~13:40

主催者あいさつ 五百旗頭 真 公益財団法人ひょうご震災記念 21 世紀研究機構理事長
川口 順子 公益財団法人ひょうご震災記念 21 世紀研究機構参与

13:40~14:40

基調講演

「今、気候変動で何が起き、私たちはどうしたらいいのか」

江守 正多 東京大学未来ビジョン研究センター教授／
国立環境研究所地球システム領域上級主席研究員

14:50~16:40

パネルディスカッション

コーディネーター

江守 正多

パネリスト

井上 雄祐 環境省地球環境局 脱炭素ライフスタイル推進室長
正木 明 気象予報士（一期生）／ 防災士
綿田 圭一 カゴメ株式会社品質保証部環境システムグループ
乾 彩海 Re.colab KOBE（関西学院大学の学生を中心にした環境再生活動グループ）メンバー／関西学院大学人間福祉学部社会福祉学科 1 年

16:40~17:00

総括

五百旗頭 真 公益財団法人ひょうご震災記念 21 世紀研究機構理事長

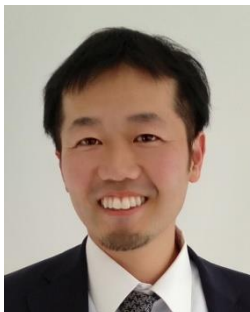
○基調講演・パネルディスカッションコーディネーター



江守 正多 東京大学未来ビジョン研究センター教授／
国立環境研究所地球システム領域上級主席研究員

1970年神奈川県生まれ。1997年東京大学大学院 総合文化研究科博士課程にて博士号（学術）を取得後、国立環境研究所に勤務。2022年より東京大学未来ビジョン研究センター教授（総合文化研究科 客員教授）/国立環境研究所地球システム領域上級主席研究員（社会対話・協働推進室長）。専門は気候科学。IPCC（気候変動に関する政府間パネル）第5次および第6次評価報告書 主執筆者。著書に『異常気象と人類の選択』『地球温暖化の予測は『正しい』か？』、共著書に『地球温暖化はどれくらい『怖い』か？』『温暖化論のホンネ』等。

○パネルディスカッションパネリスト



井上 雄祐 環境省地球環境局 脱炭素ライフスタイル推進室長

2003年環境省入省。自然環境保全、環境税制、プラスチック資源循環等の業務に従事。英国エネルギー気候変動省、北九州市環境監視部長、環境再生・資源循環局制度企画室長などを経て、本年7月より現職。



正木 明 気象予報士（一期生）/ 防災士

1961年兵庫県生まれ。早稲田大学工学部機械工学科卒業後、ウェザーニューズに入社し（99年退社）、90年から朝日放送の朝のワイド番組にて天気予報を担当し、現在に至る。94年に難関の気象予報士試験に合格し、2011年には防災士の資格を取得。災害発生時には防災士の知識も活かして実生活に役立つ防災情報を発信。お天気キャスターだけでなく、防災や人権、SDGs、最近では気候危機の問題についての講演へも登壇。2019年、多くの人に環境・気候変動・気象・災害に関する情報を発信するサイト、『正木明のSurvivalLabo』を立ち上げ。2022年1月には自身の動画チャンネルにて「正木明の出張授業プロジェクト『地球ラボ』を開始し、各地を回っている。



綿田 圭一 カゴメ株式会社品質保証部環境システムグループ

神戸大学農学部園芸農学科果樹園芸学専攻修士課程卒。1988年カゴメ株式会社入社。研究所、工場、原料調達、CSR部門等を経て2017年より現職。社内では気候変動対応、水・生物多様性保全等に携わり、環境教育にも力を入れている。社外では京都産業大学での生物多様性の講演（19～22年）や、TCFD提言への取組みに関する講演活動等を行い、農林水産省フードサプライチェーンにおける脱炭素化の実践とその可視化のあり方検討会委員（20～22年）や、おおさかATCグリーンエコプラザビジネス交流会幹事（21、22年）等を務める。

Profile



乾 彩海 Re.colab KOBE（関西学院大学の学生を中心にした環境再生活動グループ）メンバー／関西学院大学人間福祉学部社会福祉学科1年

2003年奈良県生まれ。2022年関西学院大学人間福祉学部社会福祉学科入学。入学後、学内のボランティア活動支援センターの紹介により関西学院大学の学生を中心に身近な環境問題や社会課題に主体的に取り組む「Re.colab KOBE」に所属。同年5月、須磨海岸の海洋プラスチックを用いてアクセサリーを作る「アクセサリー班」を設立。他にも、神戸市北区にある元耕作放棄地「リコラボファーム」で作物を栽培する「ファーム班」や養蜂に取り組む「養蜂班」、朝日新聞とのプロジェクト連携サイト「ko-do」の執筆を行う「ダイアログ班」に所属。

〇総括



五百旗頭 真（公財）ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長

1943年生まれ。京都大学法学部卒業、同大学院法学研究科修士課程修了。広島大学を経て、神戸大学法学部教授。その間、ハーバード大学、ロンドン大学客員研究員、日本政治学会理事長などを歴任。2006年防衛大学校長に就任。2011年内閣府復興構想会議議長、復興庁復興推進委員会委員長などを歴任。2012年からひょうご震災記念21世紀研究機構理事長、2018年から兵庫県立大学理事長、2020年から宮内庁参与。文化功労者。著書に『日本政治外交史』、『米国の日本占領政策』（サントリー学芸賞）、『日米戦争と戦後日本』（吉田茂賞）、『占領期—首相たちの新日本』（吉野作造賞）、『大災害の時代 未来の国難に備えて』など多数。

（公財）ひょうご震災記念21世紀研究機構

阪神・淡路大震災の10年間にわたる復興過程の総括検証を踏まえ、「安全安心なまちづくり」「共生社会の実現」という基本課題を中心に、様々な地域課題や政策課題について、幅広い視点から政策提言を行うとともに、震災の経験と教訓の発信、研究機関との知的交流、人材育成などの諸事業を展開するほか、兵庫県からの委託を受け、阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター、兵庫県こころのケアセンターの運営をおこなっています。

TEL：078-262-5713

FAX：078-262-5122

